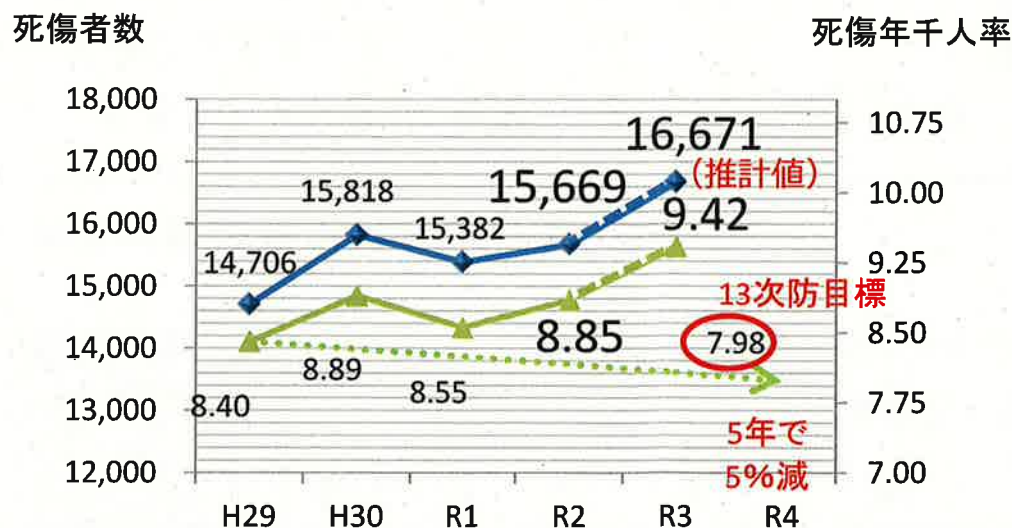


陸上貨物運送事業における労働災害発生状況

国や事業者、労働者等が重点的に取り組む事項を定めた中期計画である「第13次労働災害防止計画」において、**陸上貨物運送事業も重点業種として、死傷者数を平成29年と比較して、令和4年までに死傷年千人率で5%以上減少させることを目標**にしている。

労働災害の推移

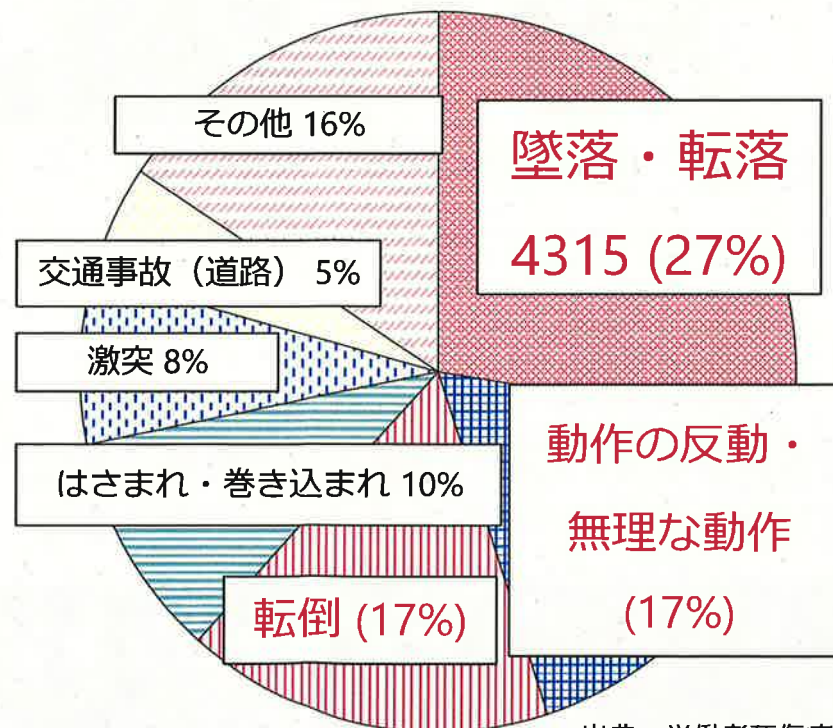
- 令和2年の**死傷者数**は平成29年比で**6.5%増**
- 令和2年の**年千人率**は平成29年比で**5.3%増**



※新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く
 ※令和3年の数字は推計値（令和3年確定値（推計））
 ※令和3年の千人率の母数の労働者数は令和2年の労働力調査を使用

労働災害の発生原因（令和2年）

- 死傷者数の**約7割**は**荷役作業中の労働災害**
- 荷役作業中等の**「墜落・転落」**が**約3割**と最多



ロールボックスパレットの取扱い作業中の労働災害発生状況

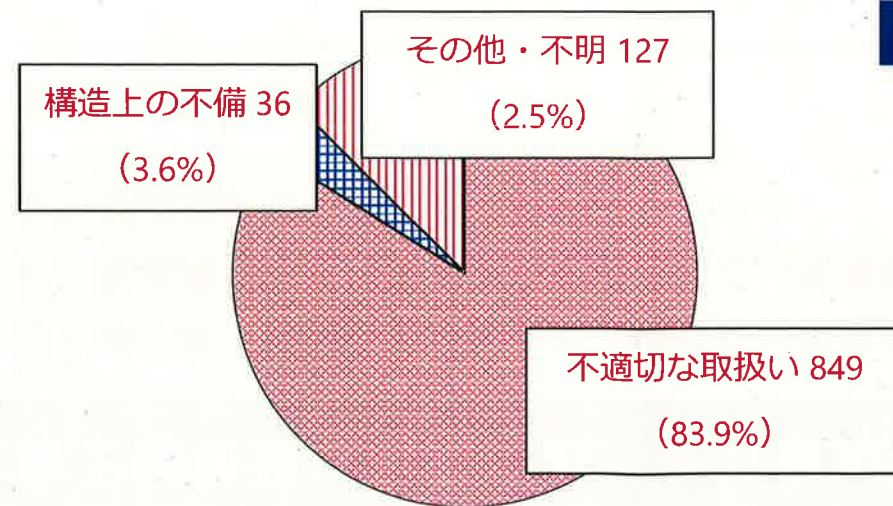
ロールボックスパレット（以下「RBP」という。）とは、一般的にカゴ車あるいはカゴ台車などと呼ばれている人力運搬機で、小売業などにおいても国内で広く普及している。令和2年に発生した陸上貨物運送事業の荷役作業における休業4日以上の災害のうち約1,000件がRBPの取扱い作業中に被災したものである。

労働災害の発生原因（令和2年）

① RBPの「不適切な取扱い」※が約8割と最多

※不適切な取扱い例

- 車輪ストッパーをかけずに、テールゲートリフターにより昇降したこと
- 最大積載量を超えた積載をしたこと



② テールゲートリフター利用時が約2割と最多

